

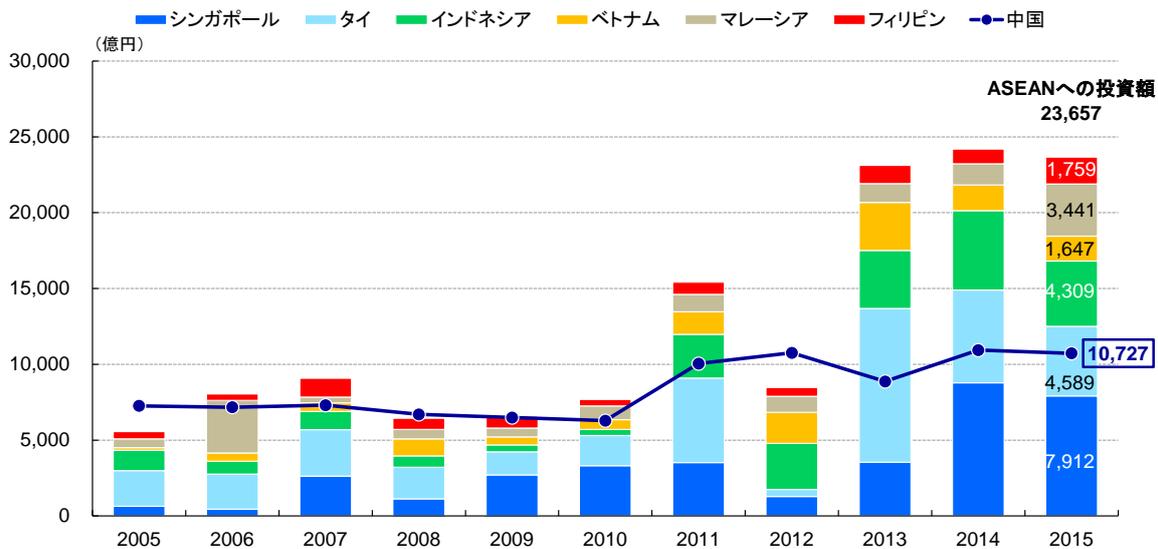
# グラフで見る ASEAN 経済の魅力 (2016 年 9 月)

調査レポート

2016 年 9 月 21 日  
 経済部 シニアアナリスト  
 大西 貴也

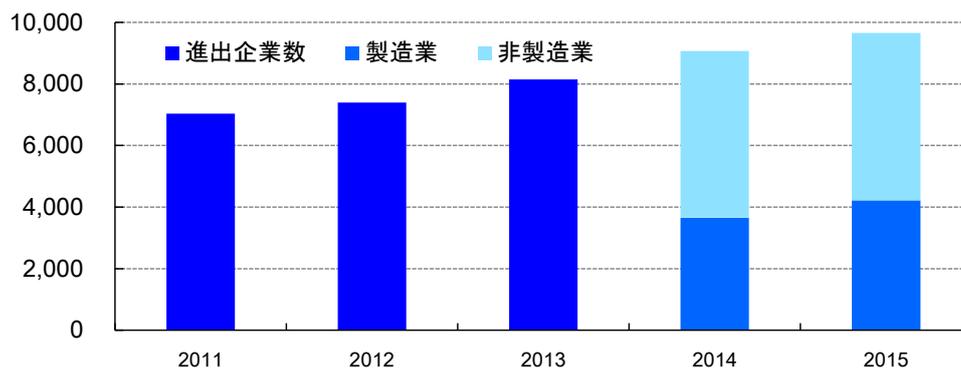
2015 年の日本の対外直接投資額において、ASEAN は中国の 2.2 倍であり、近年日本から ASEAN 諸国への進出企業数（特に非製造業）は増加の一途を辿っている。また、世銀や IMF などの国際機関による経済見通しでは ASEAN が世界で最も成長が期待できる地域となっている。特に足元ではフィリピンの勢いが強く直近四半期の経済成長率は世界でも最速の 7% で、インドネシアやタイにも復調の兆しが見られる。以下、ASEAN 経済の魅力を事業環境、規模、経済成長率、貿易の各観点から見ていきたい。

## 日本からの直接投資額



(出所) 財務省より住友商事グローバルリサーチ作成

## ASEAN への日系進出企業数



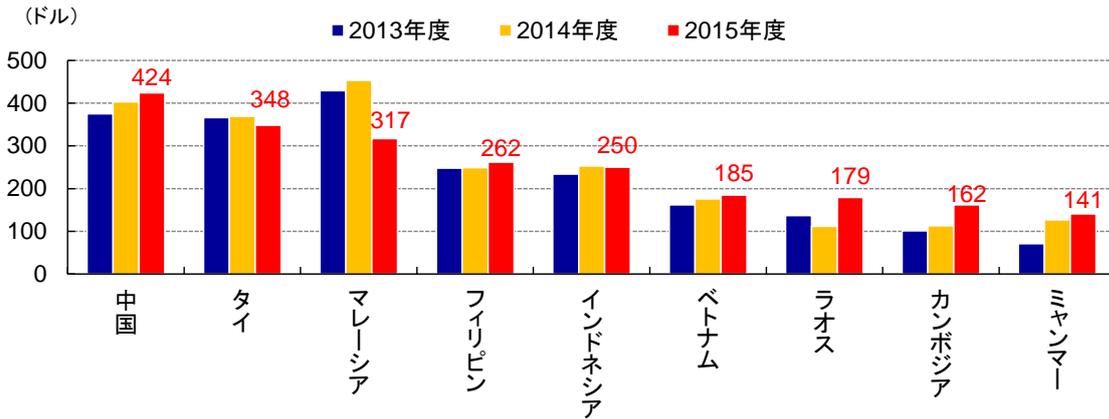
(出所) 外務省より住友商事グローバルリサーチ作成

## ◆事業環境

ASEAN は中国と比べ、事業環境において優位に立っている。その主な理由は、低賃金と生産年齢人口の増加にある。ASEAN 諸国の賃金は中国と比べ割安で、一番高いタイでさえ中国の 8 割、一番低いミャンマーでは中国の 3 割の金額である。また、2010 年頃に生産年齢人口比率のピークを迎えた中国に対し、ASEAN 全体では 2020 年頃まで増加し同程度の比率が長期的に維持される見込みとなっている。これは、シンガポール、タイ、ベトナムのように高齢化が進み生産年齢比率を下げる国の影響を、フィリピン、インドネシア、ミャンマーのように生産年齢人口が増加する国の影響が相殺しているためである。絶対値を比較すると 2015 年で中国は ASEAN の 2.4 倍だが 2050 年には 1.6 倍まで差が縮まる。

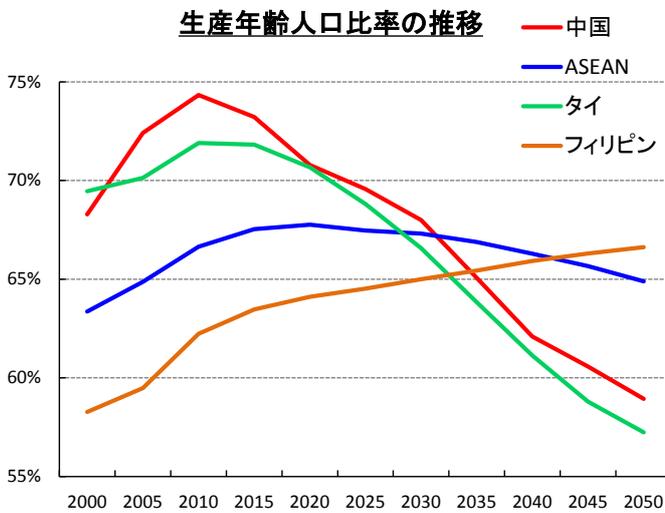
本資料は、信頼できるとされる情報ソースから入手した情報・データに基づき作成していますが、当社はその正確性、完全性、信頼性等を保証するものではありません。本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社及び住友商事グループの統一した見解を示すものではありません。本資料のご利用により、直接的あるいは間接的な不利益・損害が発生したとしても、当社及び住友商事グループは一切責任を負いません。本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。

日本企業の製造業・作業員の賃金(月額)



(出所) JETROより住友商事グローバルリサーチ作成

生産年齢人口比率の推移



(出所) United Nationsより住友商事グローバルリサーチ作成

生産年齢人口の推移

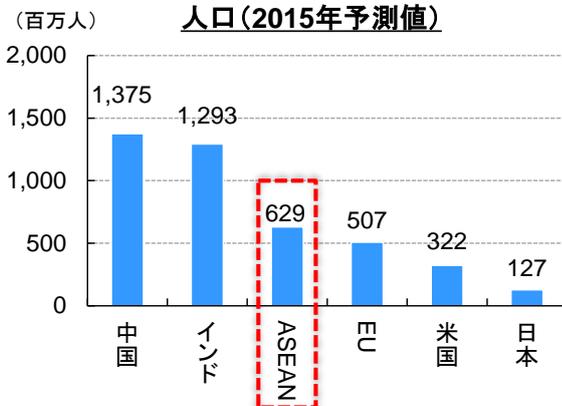
年	中国 (百万人)	ASEAN (百万人)
2015	1,008	427
2025	984	470
2035	916	499
2045	833	511
2050	795	512

(出所) United Nationsより住友商事グローバルリサーチ作成

◆規模

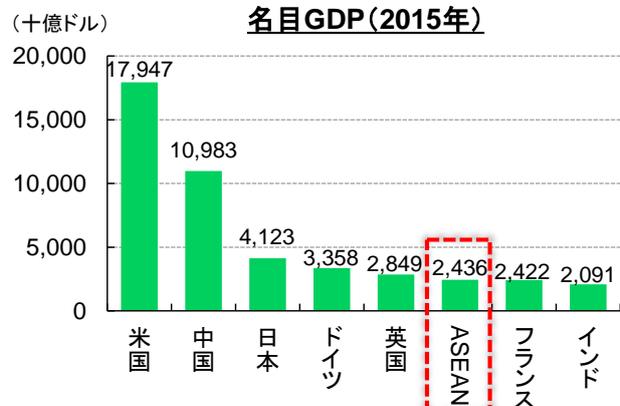
ASEAN は世界有数の規模を誇る巨大経済圏であり、消費市場としても生産拠点としても魅力的である。2015年の人口(予測値)は中国、インドに次いで3番目の規模となる約6.3億人で、EUの約5.1億人や米国の約3.2億人よりも多い。ASEANの名目GDP(2015年)はフランスやインドよりも大きく、2兆4,360億ドルである。

人口(2015年予測値)



(出所) IMFより住友商事グローバルリサーチ作成

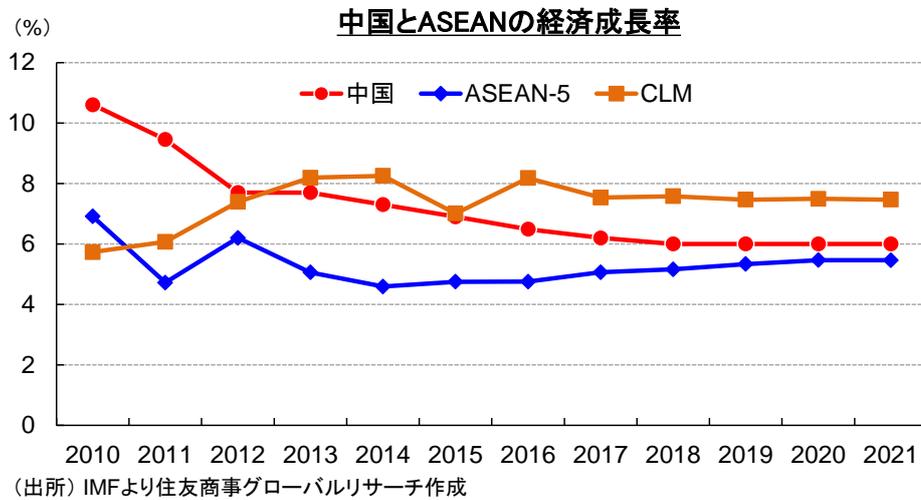
名目GDP(2015年)



(出所) IMFより住友商事グローバルリサーチ作成

◆経済成長率

ASEAN-5 (インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム) は中期的に中国と同程度の成長率を維持し、CLM (カンボジア、ラオス、ミャンマー) は中期的に中国よりも高い成長率を維持すると予測されている。ASEAN は今後更に経済規模が拡大し、将来性のある市場に成長すると期待が高まっている。



◆貿易

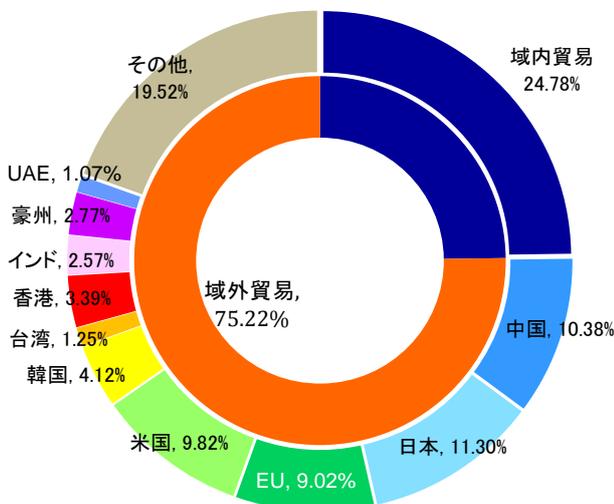
ASEAN は現在の体制 (カンボジアの加入、1999年) の確立後、貿易は順調に拡大しており、貿易額は AEC ブループリント発表の 2008 年から 2015 年にかけて 3,762 億ドル増加している (19.8%増)。同期間の NAFTA の貿易額は 1,853 億ドル増加 (3.6%増) に留まっており、EU に至っては 1 兆 4,886 億ドル減少 (12.3%減) しているのとは比べると、ASEAN の貿易は増加額・増加率ともに NAFTA・EU を大きく上回っており、その成長力は魅力的と言える。地域別では ASEAN 域内が最大の貿易相手で、域内だけでも貿易額は 2008 年から 2015 年にかけて 745 億ドル増加している (15.8%増)。また、国別では中国との貿易が大きく増加した事が全体の貿易額を押し上げている。

**貿易圏の貿易量比較 (2008-2015)**

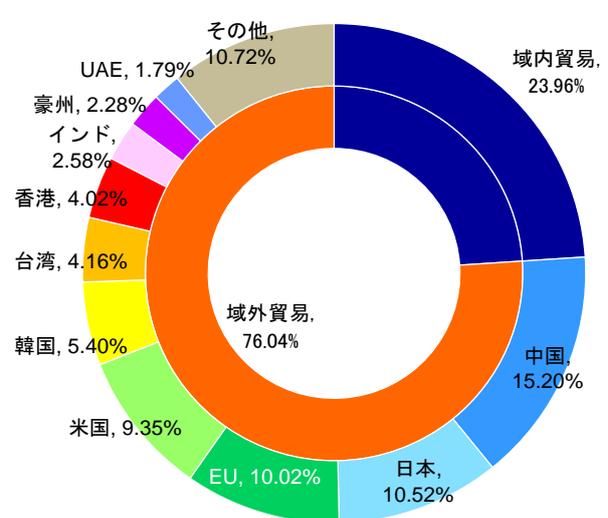
	ASEAN	NAFTA	EU
増加額(億ドル)	3,762	1,853	-14,886
増加率(%)	19.8%	3.6%	-12.3%

(出所) ASEAN事務局、JETROより住友商事グローバルリサーチ作成

**ASEANの貿易(2008年) 1兆8,971億ドル**



**ASEANの貿易(2015年) 2兆2,734億ドル**



(出所) ASEAN事務局より住友商事グローバルリサーチ作成

本資料は、信頼できるとされる情報ソースから入手した情報・データに基づき作成していますが、当社はその正確性、完全性、信頼性等を保証するものではありません。本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社及び住友商事グループの統一した見解を示すものではありません。本資料のご利用により、直接的あるいは間接的な不利益・損害が発生したとしても、当社及び住友商事グループは一切責任を負いません。本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。